

Abeanary 通信

～トピックス～

1. 人手不足にならない企業のしていること
2. 税務カレンダー（2023年10月、11月の税務）
3. おすすめ書籍のご紹介



経営者の名言シリーズ

恐るべき競争相手とは、あなたを全く気にかけることなく
自分のビジネスを常に向上させ続ける人間のことを言う

ヘンリー・フォード（フォード創業者）

※経営者100の言葉より引用

人手不足にならない企業のしていること

◆人口減少が止まらない

総務省の統計では2022年12月時点で日本の15歳から64歳人口は前年同月比0.28%、20万8千人も減っています。これから働く年齢となる15歳未満人口は同9万3千人も減少しています。総人口の推移をみると2019年以降加速して減少しており2023年5月時点の概算では総人口は前年同月比57万人減となっています。

◆人手不足にならない企業の方法とは

そのような中で新型コロナの5類移行を受け採用活動が活発化して人手不足感が高くなっています。このような背景でも人手が不足していない企業もあり、帝国データバンクの調査で「人手が不足していない要因」を調査すると、主に次のような施策を施している企業の姿が見えてきました。

- ①賃金、賞与の引き上げ（51.7%）
- ②働きやすい職場環境作り（35.0%）
- ③定年延長やシニアの再雇用（31.2%）
- ④福利厚生充実（26.6%）
- ⑤公平で公正な人事制度（22.0%）

上記②の「働きやすい職場環境」とは清潔保持、休憩スペース、社内相談窓口の設置などです。④⑤は労働者

自身が成長を感じられたり、安心できる職場にあるという施策です。他には個人の事情で長時間働けない人材にはそれに応じた働き方を提供する弾力性も求められるでしょう。

◆人材に心配りが求められる時代

世界的な物価高騰を受け実質賃金が低下する中、賃金や賞与の引き上げに取り組めない企業（取り組む姿勢のない企業）は従業員満足度や安心感が下がり優秀な人材は流出します。運よく採用できて人も育てることをしないと早期離職につながります。ただ賃金がすべてではありません。

「人は石垣、人は城」という昔の言葉がありますが、会社を支える一番の力は信頼できる人の力です。会社を信頼してくれる従業員が一人でも多く育つよう企業は自らの進む先を示しつつ率先して変革し、働く環境整備にも配慮が必要でしょう。

2023年10月の税務

10月10日

- 9月分源泉所得税・住民税の特別徴収税額の納付

10月16日

- 特別農業所得者への予定納税基準額等の通知

10月31日

- 8月決算法人の確定申告<法人税・消費税・地方消費税・法人事業税・(法人事業所税)・法人住民税>
- 2月、5月、8月、11月決算法人の3月ごとの期間短縮に係る確定申告<消費税・地方消費税>

- 法人・個人事業者の1月ごとの期間短縮に係る確定申告<消費税・地方消費税>
- 2月決算法人の中間申告<法人税・消費税・地方消費税・法人事業税・法人住民税>(半期分)
- 消費税の年税額が400万円超の2月、5月、11月決算法人の3月ごとの中間申告<消費税・地方消費税>
- 消費税の年税額が4,800万円超の7月、8月決算法人を除く法人・個人事業者の1月ごとの中間申告(6月決算法人は2ヶ月分)<消費税・地方消費税>

- 個人の道府県民税及び市町村民税の納付(第3期分)(10月中において市町村の条例で定める日)

2023年11月の税務

11月10日

- 10月分源泉所得税・住民税の特別徴収税額の納付

11月15日

- 所得税の予定納税額の減額申請

11月30日

- 所得税の予定納税額の納付(第2期分)
- 特別農業所得者の所得税の予定納税額の納付
- 9月決算法人の確定申告<法人税・消費税・地方消費税・法人事業税・(法人事業所税)・法人住民税>
- 3月、6月、9月、12月決算法人・個人事業者の3月ごとの期間短縮に係る確定申告<消費税・地方消費税>

- 法人・個人事業者の1月ごとの期間短縮に係る確定申告<消費税・地方消費税>
- 3月決算法人の中間申告<法人税・消費税・地方消費税・法人事業税・法人住民税>(半期分)
- 消費税の年税額が400万円超の3月、6月、12月決算法人・個人事業者の3月ごとの中間申告<消費税・地方消費税>
- 消費税の年税額が4,800万円超の8月、9月決算法人を除く法人・個人事業者の1月ごとの中間申告(7月決算法人は2ヶ月分)<消費税・地方消費税>

- 個人事業税の納付(第2期分)(11月中において都道府県の条例で定める日)

おすすめ書籍のご紹介

週末朝活



ジャンル	自己啓発・マインド	健康・フィットネス
著者	池田千恵	
出版社	三笠書房	
定価	847円(税込)	出版日 2023年04月20日
評点		
総合	3.5	明瞭性 3.5
革新性	3.0	応用性 4.0

本書は、「毎日」は難しくても、週末だけ朝早く起きてみよう!という嬉しい提案に加え、「週末朝活」の極意がぎゅっと詰まっている。

本書の著者は「朝活の第一人者」である池田千恵氏だ。著者はこれまで数々の朝活本を出版してきたが、本書は「週末の朝だからこそしたいこと・効果があること」にフォーカスしている。平日の朝はどうしても気忙しくなってしまうが、週末はゆったりと自由な気持ちで過ごすことができる。どんなに疲れたりストレスが溜まったりしていても、週末の朝に「自分のための自由で豊かな時間」があると思うと頑張れるのではないだろうか。

本書が提案する「週末朝活」は、夢や将来の目標を考える、朝日を浴びてエネルギーチャージをする、1週間の「やりたいこと」を書き出すなど、ひとりで気軽に始められるものばかりだ。現代はいつでもどこでも誰かにつながるができる。だからこそ、週末の朝だけでも自分とじっくり向き合い、自分の人生の「作戦タイム」にしてみたいだろうか。

- ◆◆◆詳細が気になった方は、「フライヤー」をご利用ください◆◆◆

書籍要約サービス「フライヤー」の詳細・お申込みはこちら



株式会社 アビーナリーマネジメント
税理士法人 アビーナリーマネジメント
株式会社 アビーナリーネクスト



〒980-0811
仙台市青葉区一番町1-9-1
仙台トラストタワー7F
TEL: 022-225-5090
FAX: 022-225-5091
<https://abn-m.or.jp>